

広報 おまえ



特集 ^{もり} 森林と生きる

力を合わせて、正々堂々勝負！

大江中学校の運動会が、8月27日におこなわれました。今年で41回目を迎え「躍動祭」という名称になった運動会で、生徒たちは紅白両軍に分かれて熱戦を展開。リレーや騎馬戦など、チームワークが勝敗を分ける種目では、両軍の結束力が光りました。また、応援合戦では両軍とも精一杯声を振り絞り、大迫力の応援を披露しました。

平成28年

9

No.667

もり 森林と生きる

豊富な森林を有する本町では、人々は古くから森の恵みに支えられて生きてきました。そして今、県が推進する「やまがたもりノミクス」に象徴されるように、森林の価値は再び多方面から注目を集めています。

町産の良質な木材である「西山杉」の利用拡大をはじめ、森林資源を生かした地域振興のためのさまざまな取り組みをご紹介します。

暮らしの中の西山杉

～町産の資源をフルに活用～



美郷地区コミュニティーセンター

公共建築物

地域のシンボルとなる公共の建物の木造化により、西山杉の利用拡大が期待されます。



大江町型住宅（自由設計）

住宅

強度に優れ、温度・湿度調節機能を備えた木造住宅は、西山杉の代表的な利用方法です。



西山杉の置時計、写真立てなど

家具・インテリア

木目の美しさを生かし、家具やインテリアへの利用が進めば、さらなるPRにつながります。



山里交流館の薪ストーブ

エネルギー

薪やチップなどの「木質バイオマス」の利用により、木材需要も高まります。

樹齢約80年の西山杉を半割りにした長さ15メートルのベンチ。中央公民館の入口のそばに置かれています。

森林の歴史が刻まれた

西山杉の魅力

村山盆地を南北に流れる最上川を境に、東側の奥羽山系は「東山」、西側の出羽丘陵山系は「西山」と古くから呼ばれてきました。このうち本町の七軒地区を中心に、北は西川町の本道寺地区から、南は朝日町の立木地区にかけての区域から産出される木材を「西山杉」と称してきました。昔から市場で木材を求める人々の間では、「西山から出る木は良いものばかりだから、必ず買え」と言われていたといえます。西山地域の木材の品質に対する、信頼の高さをうかがわせるエピソードです。現在でも、その品質の良さから西山杉は市場で高い評価を受け続けています。

西山杉の魅力のひとつは、美しい光沢があることです。特に、板目の製材品は光沢の良さが際立つと言われています。また、色彩の良さも大きな特長とされています。樹齢を重ねるごとに西山杉の色彩は冴えを増し、木が持っている本来の美しさが際立っていきます。さらに、材質が固めであり、かんない切りなどの加工がしやすいということも、西山杉が

人気を集める理由となっています。

7月18日にオープンした中央公民館・町立図書館「ぷくらす」は、西山杉の丸太で作られたモニュメントが大きな特徴となっています。西山杉は「大径木」と呼ばれる幹の太い木がとて良質であり、その点でも貴重な木材とされてきました。「ぷくらす」のモニュメントは、西山杉の魅力が一目で分かるように表された、壮大なモデルといえるかもしれません。

秘密はふるさとの山の豊かさにあり

西山杉の大径木は、植林から伐採までの期間が非常に長く、70年から80年にもなります。樹齢を重ね、たく成長した木は年輪の密度が高く、美しい木目と色つやが出るようになります。

これだけの長期間にわたって育林することができるのは、木を育む山の土壌が養分豊かであるからだと考えられています。さらに、地中に深く根を張るだけの柔らかい土の層があるため、根本がたく安定した木が育つともいわれています。このため、冬は深い雪に閉ざされる気候であっても、西山杉はたくましく真つすぐ

に伸び続け、長い長い年月を経て美しい木に成長していくのです。

地域に循環をもたらし 木材の活用

さまざまな面で高い評価を受け、まさに「ふるさとの財産」として注目されている西山杉。その積極的な活用を図り、地域の林業・木材産業の振興の実現に向けて、県と、本町・西川町・朝日町、そして木材産業の関係者などで構成される「西山杉利活用推進コンソーシアム」が、平成26年9月に設置されました。そして、県が提唱する「やまがた森林ノミクス」の枠組みに基づいた取り組みの指針を、今年3月に示しました。

生産から流通・加工、そして利用に至る木材産業の流れの中で、特に利用については、生産者、製材・加工業者、設計・建設業者など関係者が一体となり、本町で建築を奨励している「大江町型住宅」のさらなる展開をはじめ、地域材を利用した地産地消型の家づくりを推進していくことが指針のひとつとなっています。それに加え、県で取り組みが進められている木質バイオマスエネルギーの利活用拡大、家具・インテリアへの利用の促進など、地域内での

私たちが木に出会うまで

木材の流通



植林・保育

山に苗木を植え、その後枝打ちや間伐などの手入れをします。



伐採

成長した立木を切り倒し、利用する長さに切り離して市場や工場に運びます。



製材・乾燥

丸太の皮をむいて角材や板材などに加工し、十分乾燥させます。



建築

柱や梁を骨格とし、木材を組み合わせて住宅などを建てます。

生産・流通加工・利用を進め、木材の地域内循環の仕組みを形成していくことを目標としています。

美しい森林を 取り戻すために

西山杉の産地である七軒地区は、かつては林業が主要産業でした。しかし、国産の木材の価格が急激に下落したことなどもあり、林業の収入は低迷。多くの人々が山での仕事から離れ、過疎化も進行することになりました。林業に従事する人々も高齢化が進み、深刻な後継者不足に陥っています。

また、森林の整備や収穫のための伐採をおこなっても採算がとれないという状況もあつて、利用されない森林が増えていきました。手入れの行き届かなくなった森林は根元に植物が育たず、土壌の養分も乏しくなり、荒廃が進んでいきます。

山が荒れていくのを防ぎ、美しい森林を取り戻すための第一歩は、使われていない木を利用することです。木を植えて育て、伐採し、また植えるというサイクルを立て直すことで、森林は保全され、その過程で出る間伐材などの利用により地域経済にも好影響が生まれます。山間地域の未

来のために、今、森林の資源を活用した取り組みがいたるところで進んでいます。

木のエネルギーで 森林と地域に活力を

木材資源を有効活用する方法のひとつとして、エネルギーとしての利用が注目を集めています。間伐材などから作られるチップやペレット、廃材や住宅解体材など、木材に由来する資源を木質バイオマスと呼び、これを燃焼させることで暖房や給湯などのエネルギーに利用することができます。石油などの化石燃料と比

木に携わる方々にお聞きしました



大江町製材組合長
望山製材(株)
柏倉菊正さん
(望山)

西山杉は適度に赤みが強く、色つやが良く明りな色彩が特徴的です。これは、産地の土壌の豊かさが大きく影響していると思います。

これからの大きな課題は、後継者の確保と育成です。木造建築がこれからも広く受け入れられるためには、木の本来の良さを生かした建築ができる「匠」の技を、受け継いでくれる人が必要です。木が持っている本物の魅力をたくさんの人に知ってもらえるようになれば、木材を扱う業界全体が盛り上がっていくのではないのでしょうか。

大江町産の西山杉は良質な大径木が多く、これは町ならではの木材として自慢できる点です。最近は地元産の木材で作った家具などを求める方が増えているのですが、西山杉は特に「こんなに立派なものがあるとは思わなかった」という方が多いそうです。

また、都会でも木造住宅の人気の高まってきているので、首都圏などの木材需要が多くなっています。今後もっと販路を拡大して、山林に関わる人たち全体が活気づくようになればいいと考えています。



金上林業
庄司 誠さん
(諏訪原)

私たちは薪を作ることで山林を荒廃から守り、地域内経済が循環する仕組みを構築するため、薪供給者の育成や情報発信、講演会などの活動をしています。

県内では薪ストーブなどを導入する家が毎年150~200件ずつ増加し、町内でも補助金を受けて購入する方が増えています。現在、公共施設への薪ボイラーの導入が検討されており、今後も普及が進むことを期待しています。

今は技術が進んで薪ストーブも扱いやすくなっているので、より多くの方に薪の可能性について知ってほしいですね。



沢口区若者会
山口啓一さん
(沢口)

大江町は自然が豊かで、林業で頑張っている方も多く、私たちの活動にぴったりの場所です。大学で専攻していたので林業の知識はあったのですが、昔から山と関わり続けてきた方たちとふれあうことで、山の仕事と暮らしの繋がりを実感することができました。山里の雰囲気、温かさにも、とても癒されます。

今後はメンバーの得意分野を生かしながら、山里の暮らしを学んでいきたいです。もっとたくさんの方が山や森に興味を持って、足を運ぶようになってくれるといいですね。



林業女子会@山形
稲田瑛乃さん
(鶴岡市)

べて環境への影響が少なく、再生可能なクリーンエネルギーのひとつとして全国的に利用の動きが広がっています。

町内では、複雑な加工を必要とせず、誰にでも簡単に作れる薪まきを活用するための取り組みが進められています。山里交流館「やまさあーべ」においてはすでに薪ボイラーと薪ストーブが設置されており、今後も公共施設などを中心に導入が検討され

ています。また、木材が不足している被災地へ向けて薪を販売する取り組みもあり、こうした需要の増加によって新たな雇用の創出など地域経済の好循環がもたらされることが期待されます。

現在、若者や女性の間でも森林に注目する活動がおこなわれています。

森林の恵みを生かし 広がる可能性

そのひとつが、県内で山や林業に興味を持っている女性の方々が結成した「林業女子会@山形」です。

林業女子会は七軒地区を活動拠点とし、林業に携わる方や山間地域で暮らしている方にお話を聞いたり、実際に山に足を運んで作業を体験したりすること、林業の現状を知る月例会を開いています。また、ワークショップなどを開いて山に関する知識を共有する活動もおこなっています。

森林の恵みは木材だけに限らず、豊かな自然そのものが町ならではの貴重な資源であるといえます。木の実や山菜、きのこなどの山の味覚、そしてそれを生かした料理など、山がもたらしてくれる恩恵は多彩です。多くの人を引きつける森林の魅力は、豊富な山林資源の利用拡大と新たな産業を生み出す可能性に満ちているといえます。



▲富沢地内に完成し、8月から稼働を開始したやまがた地鶏食鳥処理施設



▲施設内の設備を見学する出席者



▲開所式でおこなわれた神事の様子



▲やまがた地鶏の焼き鳥とから揚げが振る舞われました

1 ■特産品化へ向けて大きな一歩 ～やまがた地鶏食鳥処理施設開所式～

昨年度から富沢地内に建設を進めてきた、大江町やまがた地鶏食鳥処理施設が今年完成し、8月25日に開所式がおこなわれました。式典には関係者など30名が出席し、食鳥処理事業の成功を祈る神事がおこなわれました。出席者は施設内の設備を見学した後、テルメ柏陵健康温泉館での試食会に参加。食鳥処理施設で加工された鶏肉の焼き鳥とから揚げを試食し、やまがた地鶏ならではの適度な歯ごたえとおいしさを味わっていました。

本町では、平成20年度に有志による「大江地鶏の会」が組織され、やまがた地鶏の飼育が開始されました。これを皮切りに、町ではやまがた地鶏の特産品化を目指してさまざまな取り組みを進めてきました。町内での飼育羽数も年々増加し、今年度は約3500羽の飼育を見込んでいます。

しかし、これまでの販路開拓・流通・商品化の過程で、安定供給や希少部位の提供、冷凍しないフレッシュ肉での提供などが大きな課題となっていました。

このたび開所した食鳥処理施設では、やまがた地鶏を主として、食鳥を解体する食鳥処理と鶏肉を部位ごとに切り分ける食肉処理をおこないます。運営が本格化することによって、飲食店などの消費者からの要望に対するよりきめ細かな対応が可能になり、従来の課題の解決を図ることができると考えられています。

施設は兼子土木株式会社が指定管理者となって、8月から運営を開始。今後、やまがた地鶏の特産品化に向けて、さらなる販路拡大と生産の増大に繋がっていくことが期待されます。

2 ■定期接種が始まります ～B型肝炎ワクチン～

これまで任意接種だったB型肝炎ワクチンが、予防接種法の改正により10月1日より定期接種（公費負担）となります。詳細は、9月に対象者へ個別通知します。



◆対象者／平成28年4月1日以降に生まれた0歳児

◆接種回数／生後1歳になるまでの間に3回

※27日（4週）以上の間隔をあけて2回接種した後、初回接種から139日（20週）以上の間隔をあけて1回接種

※10月1日以前に任意接種を受けている方は、すでに定期接種で規定された回数分の接種を受けたものとみなします。また、母子感染予防対象者（健康保険によりB型肝炎ワクチンの投与を受けた方）は対象外となります。

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎（62）2114まで

3 ■より利用しやすくなりました ～空き家利用支援制度～

町では、空き家などの賃貸または売却を希望する所有者から情報提供を受け、空き家・空き地情報提供システムに登録した物件をホームページなどを通じて利用希望者に紹介するサービスをおこなっています。

また、空き家を利用する方の負担を軽減し、より利用しやすくするための支援制度もあります。このうち、空き家の所有者および利用者が水回りや内装・外装などの改修をおこなう場合の補助金について、交付要件が今年から緩和され、制度を利用しやすくなりました。補助を受ける場合に必要な書類など、詳細については担当へお問い合わせください。

※お問い合わせは、政策推進課総合戦略推進係 ☎ (62)2118まで



空き家利用に関する補助制度

《空き家の家財道具を処分・清掃したい所有者の方》

- ◆対象者／大江町空き家・空き地情報提供システムに空き家を登録している所有者
- ◆対象経費／家財道具などの処分・搬出、空き家の清掃に要する経費
- ◆補助率／賃貸希望物件：対象経費全額（上限10万円）
売買希望物件：対象経費の1/2（上限5万円）

《空き家を改修したい所有者・利用者の方》

- ◆対象者／大江町空き家・空き地情報提供システムを利用して空き家を売買または賃貸借し、改修工事をおこなう所有者および利用者
- ◆対象工事／台所、トイレ、浴室、洗面所などの水回り、内装、屋根、外装などの改修工事
※申請後の工事のみ対象となります。

◆補助率／

区 分	空き家の購入	空き家の賃借・賃貸
若者世帯、子育て世帯、新婚世帯、町外からの移住世帯、事業を目的とする者のうちいずれか1つに該当	対象経費の2/3 (上限60万円)	対象経費の1/2 (上限40万円)
若者世帯、子育て世帯、新婚世帯、町外からの移住世帯への該当なし	対象経費の1/4 (上限30万円)	対象経費の1/6 (上限20万円)

《空き家に住む利用者の方》

- ◆対象者／大江町空き家・空き地情報提供システムを利用して空き家を購入または賃借している方
- ◆交付額／10万円（1回限り）

4 ■安心して暮らせる地域社会を目指して ～大江町地域福祉計画(第2期)策定～

本町では平成23年3月に「大江町地域福祉計画」を策定し、「ともに支え合う地域社会を築いていこう」を基本方針として、5年間にわたって計画を推進してきました。そして今年3月、今後の地域福祉のあり方などについて広い視点から見直した新たな計画を策定しました。

年々進行する少子高齢化や核家族化、生活様式の多様化などを背景に、地域住民が抱える生活課題も複雑化している現状にあります。こうした課題の解決のために、住民同士が互いに支え合う「互助」の考え方が重視されています。

このたびの「大江町地域福祉計画(第2期)」では、高齢者や障害者、児童など誰もが手を携え、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを目標とし、基本方針を「地域の“絆”を深め、安心して暮らせる社会を築こう」としています。この方針のもと、福祉サービスの適切な利用の推進や住民主体による地域づくりのための条件整備、住民の支え合いによる地域づくりを重点施策とし、平成32年度まで地域福祉推進のための取り組みを進めていきます。



▲今年度からスタートした一般介護予防事業「いきいき貯筋教室」



①



②



③



④



⑤

①サマー・コミュニケーション・フェス
 O-STEPキッズダンス「SMIZE」
 のパフォーマンス ②朝市のにぎわい
 ③原町露店市でかき氷を楽しむ子ども
 たち ④8区行燈まつり ⑤魚つかみ
 どり大会では大物が続々 ⑥雨に見舞
 われた河川敷の様子 ⑦最上川の水難
 者を供養する川供養 ⑧左沢高校ボラ
 ンティアによる灯ろう流し

8月10日。中央通り商店街に飾られた青竹ちようちんに色鮮やかな明かりが灯され、駅前では家々の前を行燈の柔らかな光が照らし出した。祖先の魂を導く迎え火の列。古来、盆の時期に繰り返されてきた営みの先に、この町が最も華やかに盛り上がる日が、今年もやってくる。

8月15日。原町通りににぎやかな露店が立ち並び、町内外からの大勢の人々が祭りを楽しむ中、突然降り出した激しい雨。94年目の花火大会の開会を告げる御神火が大会本部前に灯されると、不思議と穏やかな空が戻ってきた。待ちかねたように次々と夜空へ解き放たれ、轟音とともに咲き乱れる、四千発の鮮やかな光の花々。約7万人の来場者がきらめく夜空を見上げる中、子どもたちの祈りが込められた灯籠の送り火の群れが、静かに川を下っていった。

ふるさと盆まつり・青竹ちようちんまつり（中央通り商店街）

水郷大江 夏まつり



⑥



⑦



⑧

鮮烈な光の饗宴とともに

またひとつの夏が終わる



8/14 ふるさとの誇りを胸に活躍誓う

新成人としての門出をふるさとで祝う、平成28年度の大江町成人式が、8月14日にふれあい会館で開催されました。今年は平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた110人が成人式を迎え、そのうち73人が出席しました。

式典では、渡邊町長が「社会が激動している今、時代を切り開くのは若い柔軟な発想と行動力です。町の文化とそれを築いた先人の暮らしを誇りに、ふるさと大江の将来とともに支えていってください」と式辞を述べ、その後、20歳のつどい実行委員長の菊地智央さん（5区）から、記念品として町に図書が寄贈されました。

そして成人者代表の岡田翼さん（蛍水）が「故郷を離れて、町の景色の美しさや人々の温かさに改めて気づきました。ふるさとを誇りに思い、成人としての自覚と責任を持って、地域に役立つ人材になれるよう頑張っていきます」と、誓いの言葉を力強く述べました。



▲渡邊町長に記念品目録を手渡す菊地智央さん



8/8~10 とれたては甘くておいしい!

わかば保育園の園児たちが、8月8日から10日にかけてミニトマトのもぎ取り体験をおこないました。この農業体験は、農業委員を務める渡邊貞子さん（梨木原）が中心となり、食育活動のひとつとして今年初めて実施されたものです。

園児たちは、渡邊さんの畑で赤や黄色につやつやと光るミニトマトを1つずつもぎ取り、とれたての甘い実を味わいながら「持って帰って、パパやママにも食べてほしい」と、笑顔で話していました。



▲優良賞・自動車分団第2部



▲優良賞・第4分団第1部

8/7 速さと正確さで勝負!

消防団員の操法技術の向上と士気高揚を図る西村山支部消防操法大会が、8月7日に寒河江市最上川ふるさと総合公園駐車場で開催されました。本町からは自動車分団第2部と第4分団第1部が出場。約1カ月にわたって厳しい訓練を積み重ねてきた選手たちは、本番の舞台でその成果を遺憾なく発揮し、優良賞に輝きました。

出場者

《自動車ポンプの部》

自動車分団第2部

指揮者 兼子 貴行 (8区)
 1番員 青柳 達也 (9区)
 2番員 佐藤 雄大 (9区)
 3番員 上田 惇史 (7区)
 4番員 鈴木 裕二 (蛍水)
 補 欠 伊藤 直彦 (蛍水)
 補 欠 堀 昌達 (8区)

《小型ポンプの部》

第4分団第1部

指揮者 宮下 透 (久保)
 1番員 柏倉 則夫 (橋上)
 2番員 伊藤 陽介 (美郷)
 3番員 柏倉 智史 (橋上)
 補 欠 橋本 清宣 (久保)
 補 欠 柏倉 正志 (橋上)



8/12 ふるさとで運転もゆっくりと

ふるさとでお盆を過ごすために多くの方が帰省する中、暑さによるぼんやり・居眠り運転の防止を呼びかけるための街頭指導「ふるさと笑顔帰省作戦」が、夏の交通安全運動期間中の8月12日に道の駅おおえ前でおこなわれました。

この日は、朝早くから町の交通安全対策協議会の会員30名が参加。「夏の交通安全運動実施中」の人波看板や、「おかえりなさい ゆっくり走ろう大江町」と書かれたのぼり旗などを持って沿道に立ち、国道を走るドライバーに安全運転を促しました。



8/7 猛暑に負けず力走!

真夏の山を走り抜ける第41回蔵王坊平クロスカントリー大会が、8月7日に蔵王坊平で開催されました。本町からは、町内の小中学生の中からジュニア駅伝の部に男女各5名のチームが出場し、クロスカントリーに13名の選手が参加しました。

この日は午前中から強い日差しが照りつけ、猛烈な暑さの中でのレースとなりましたが、選手たちはそれぞれ練習で身につけた力強い走りを披露。駅伝男子の部では、本郷東小学校6年生の菊地道登さん(梨木原)が第2区で区間賞を獲得するなど、大健闘しました。

8月16日、花火大会が終わった次の朝、空気の乾きと冷たさに秋を感じた。灯籠が流れていた最上川の畔では、朝の5時半だというのに若い釣り人が3人。「おはようございます。釣れましたか、何が釣れますか」「ばす、これから釣れると思うよ」「餌は疑似餌ですか、どちらからですか」「竿を上げ糸を引き寄せ、人工の青虫のような物を見せてくれた、「山形市からです」。ばす、と聞いて一瞬、おつと戸惑った。ばすはブラックバスのバスに違いない。日本にはいなかった外国の魚。釣竿も短くて、糸もやや太いように見える。釣り人の服装も何となく蓑笠や麦わら帽子は似合わない洋風で、野球帽だ。静かな朝、昨夜の人と音と空の花火は、跡形もない。花火大会の本部席に向かった。途中、大きな分別の段ボールのごみ箱、周辺にごみは一つも落ちてはいない。道路にも、どこにも花火大会のごみは見えない。お越しになった方々、町民お一人お一人の「持ち帰りその後始末」が、きちんと実行されたのだろうと、空を仰いだ。終わり良ければ、すべてよし、とはいうけれど、始める時に「後始末」までをプログラムすることはなかなか難しい。

8月16日8時40分、胸に「大江中」とプリントされたTシャツを着た生徒さんたちが、片付けに向かう町職員とボランティアの方々の仲間になっていた。生き生きとした笑顔に、朝の光がまぶしいほどだ。彼らがいるかぎり、花火大会はなくなることはない。ありがとうございます。本当に「苦労さまでした」。

虎は死して革を残し、花火は消えて人を残す。誰が言ったか、とまれ、6年後にやってくる水郷大江100回記念花火大会の夢は大きく、20号玉1000連発と成るか、成らぬか……成らぬは人の成さぬなりけり。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.36

左沢藩主・酒井直次の死後、慶安元年（1648年）から左沢の地を領することになった松山藩。その代官所が設置されたのが、現在の町民ふれあい会館の場所です。周辺には松山藩の家臣たちが居住し、武家屋敷の街並みが形成されました。これに伴って、代官所の西側から横町通りまでの新町通り、代官所の東側から原町通りまでの東町通りなどの新しい道路が整備されたと考えられています。また、現在の八幡神社境内には代官所の米蔵があり、月布川の川口橋付近から蔵米を積み下ろしたと伝わっています。

その後、近・現代に入り、新道が整備されるなど街並みは変化しましたが、現在でも間口の広い武家の住居の地割や、代官所と米蔵の間にある「袋町」（写真上）、その北側を通る「代官小路」（写真下）などの地名が残されています。



松山藩左沢代官所跡周辺の街並

短歌

夫逝きて一人居寂し早六年お盆に墓参ありし目惚ふ

菅井 妙子

朝霧にぼんやり見える山々の小鳥鳴く音にこの世の和み

松田 靉

初めての御飯粒がお気に入り池の赤鯉並びて泳ぐ

山家 重之

暑き夜に孫と眺むる大花火過ぎゆく夏に列れを告げて

長岡かつ子

真夏日に真赤に燃える鬼小百合蝶の口付けそり返って待つ

菊地つねよ

ひっそりと頭をたれて稚児百合と名付けし弘法ふさわしき花

佐竹 與鼓

家族の名おつとの名をも忘れたる妻の手をとり老ろうの旅

斎藤 徳治

俳句

還らざる旧友悼む敗戦忌

菅井 妙子

咲き満ちて空輝けり百日紅

松田 靉

劔岳肩並べるや雲の峰

今井 茂樹

広島忌鶴折りてきぬ大統領

阿部 一風

水と空青の境や初泳ぎ

山家 重之

木下闇赤きレンガや宮城峽

安藤 桂花

河童忌や世の中今も不安なり

金子脩一郎

朝顔の明日の花を数へたり

清野今日子

枝払ひ残る一房ミニトマト

熊谷 勉

暇な事などは贅沢ちちる虫

舟山 三男

茄子の馬頸長うして人を待つ

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。



専門学校で美容師の資格を取得し、20歳の時に神奈川県の理美容室で働くようになった佐久間さん。その時、テレビに出演していたある女性歌手を見て「いつか、この人のヘアメイクを担当したい」と強く思ったといいます。そしてお店を退職後、有名芸能人のヘアメイクを手がける方に弟子入りし、1年後にはついにあこがれていた歌手の方を担当することができたそうです。

「目標にしていた方を担当できて、もちろんすごく嬉しかったんですが……たった1年で夢が叶ってしまったので、燃え尽きてしまったのかもしれない」

現在は実家のヘアサロンサクマで働いている佐久間さん。町内の婚活イベントなどにも積極的に協力しています。

「町にもっともっと若者が増えてくれたらいいなと思って活動しています。町の人口が増えれば、うちのお店も繁盛するようになりますからね」と、笑顔で話してくれました。

佐久間 大輝さん
(27歳・11区)

若者を集めて町を盛り上げたい

地域おこし協力隊通信 No.26



私が大江町に来てもう5カ月が経ちました。知らなかった町も、知らなかった道も、いつの間にかいつもの町であり、いつもの道となっていました。

さて、私の地元(埼玉県秩父市)では全く見なかった薪ストーブですが、大江町では薪ストーブを持つ人が多いということに気がきました。薪ストーブに使う木は生のうちに割り、1年以上乾燥させた方がよいということを初めて知り、薪ストーブを持っている知り合いの家で薪の準備のお手伝いをさせていただきました。知り合いのもとに集まった木は、畑に転がっていた木や果物農家の方々が剪定した枝やなめこ栽培に使った木などで、それをチェーンソーで短く切り、斧で割って細くし、薪用の倉庫に並べていきました。

今回このような体験をしてみて、薪ストーブは使い方や手入れだけでなく、薪の準備もすごく大変ということがわかり、薪ストーブを持つ家がどれだけ大変なのかを知ることができました。また、薪ストーブを持つ家が少しずつ増えていることを知り、それは、大江町の特徴にもなるのではないかなと思いました。

地域おこし協力隊 秋山雛菜



↑薪割りの様子



↑薪割りしたメンバー（就農研修生と受入農家）

お知らせ

Information

特定公共賃貸住宅みなみ団地の入居者を募集します

◆募集戸数および所在地／A棟3号（2LDK）大字本郷己121123、D棟3号（2LDK）大江町大字本郷己121130

◆家賃および敷金／A棟6万3千円（敷金18万9千円）、D棟6万1千円（敷金18万3千円）

※家賃には減額制度があります。

◆応募の条件／①世帯の月額所得が15万8千円以上48万7千円以下であること、②現に同居し、また同居しようとする家族がいること、③暴力団関係者は入居をお断りします

◆募集期間／9月14日（水）～9月30日（金）

◆入居予定日／11月1日（火）

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62) 2116まで

「おおえの物産味まつり」出店者募集

大江の秋の味覚や物産が勢ぞろいする「おおえの物産味まつり」を開

催する予定です。出店される方を募集します。

◆日時／11月13日（日）9時30分～

◆場所／町民ふれあい会館

◆内容／町産品の販売、各種イベント

◆締切／9月23日（金）まで

※申込・お問い合わせは、おおえの物産味まつり事務局大江町商工会 ☎(62) 4128、または政策推進課起業推進係 ☎(62) 2139まで

健康福祉課からのお知らせ

【9月は「健康増進普及月間」です】

1に運動、2に食事、しっかりと禁煙最後にクスリ、健康寿命の延伸、運動・食事・禁煙などの生活習慣を振り返り、自分に合った健康づくりをおこないましょう。

例えば：①毎日10分の運動をプラス、②食卓に野菜のおかずを一皿プラス、③禁煙をする（受動喫煙はがんや心臓病、子どものぜんそくなどさまざまな病気を引き起こします）

【9月24日～30日は結核予防週間です】

国内では、今でも年間約2万人の新しい患者が発生し、約2千人が命を落としています。

2週間以上続く咳や微熱などの症状がある場合は、結核が心配される

外国人相談窓口について

山形県国際交流センターでは、県内に住んでいる外国人の方を対象に、日常生活で困っていることなどを母国語で相談できる相談窓口を開設しています。



◆開設曜日と開設時間

言語	開設曜日	開設時間
日本語・英語	火～土	10時～17時
中国語	火・金	10時～14時
ポルトガル語	水	
韓国・朝鮮語	木・土	
タガログ語	金	

◆場所／公益財団法人山形県国際交流協会（霞城セントラル2階）

◆相談電話番号／023(646)8861

◆相談専用E-mail／soudan@airyamagata.org

場合がありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

また、乳児は1歳になる前までにBCG予防接種を、65歳以上の方は年1回の結核検診（胸部レントゲン）を受けることになっています。また、職場や町、医療機関で結核検診を受けていない65歳以上の方は、医療機関などで健診を受けてください。

左沢市街地一斉清掃の実施について

このたび3年ぶりに左沢地区の関係住民が主体となり、消防団（自動車分団・第1分団）、建設クラブ、町などが協力し合い、左沢市街地の

側溝を清掃します。住みよい環境の維持のためにも関係者の皆様のご協力をお願いします。

◆日時／9月11日（日）8時～

◆清掃場所／左沢1区～10区の道路側溝

※当日は、清掃作業中の交通規制にご協力ください。

※お問い合わせは、総務課危機管理係 ☎(62) 2187まで

大江町民ふれあいの旅の案内

大江町公共交通機関利用促進協議会の共催事業として、「大江町民ふれあいの旅」ツアーを開催します。

おおえの秋まつり開催!



各地区に大切に受け継がれてきた伝統芸能や神輿が、町内を練り歩きます。また、JR左沢駅前では下記の日程でパレードも開催されますので、ぜひお越しください。

- ◆期日/9月18日(日)
- ◆パレード場所/ JR左沢駅前広場

出演団体	時間
MOVE Rヒップホップダンス	11時20分
深沢獅子踊	11時30分
七区囃屋台	11時45分
三区左沢獅子踊	12時05分
九区尚和会神輿	12時20分
おかみさんソーラン愛好会	12時30分
御免町囃子座	12時35分
八幡神社神輿(柏風会)	13時00分
左澤八区女相撲甚句	13時15分

※お問い合わせは、大江町観光物産協会事務局 ☎(62)2139まで

◆日時/10月25日(火)〜26日(水)1泊2日

◆内容/北海道新幹線で行く北海道の旅 函館・江差 道南名所めぐり

◆募集定員/40名

※詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください。

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎(62)2118まで

村山地域森の感謝祭に参加しませんか

◆日時/9月24日(土)9時半〜12時

◆会場/大山自然公園(荒天時は中央公民館で式典のみ開催)

◆内容/森の感謝祭式典(大江スポーツクラブOUSTEPキッズダンス「SMILE」によるアトラクション、林業功労者表彰など)、森づくり活動(公園散策路の保全活動) ※森づくり活動には事前申込が必要です。

※申込・お問い合わせは、村山総合支庁森林整備課 ☎023(621)8248、または農林課事業係 ☎(62)2115まで

介護のノウハウ講座

介護の仕事に就くことを考えているがまだ経験のない方、興味・関心のある方、就活へのヒントを探している方、実際に現場施設で働く職員の方のお話を聞いてみませんか。当日の参加も可能です。

◆日時/9月29日(木)13時半〜(90分程度)

◆会場/ハローワーク寒河江

◆参加料/無料

※申込・お問い合わせは、山形県福祉人材センター ☎023(633)7739まで

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの方へ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならぬ規定となっております。まだ写真の書換えをされていない方は、速やかに手続きされるようお知らせします。

※「写真の書換え」とは、新しい写真を印刷した免状に取り替えることです。 ◆申請書入手先/西村山広域行政事務組合消防本部、村山総合支庁、一

般財団法人消防試験研究センター山形県支部

※申請・お問い合わせは、一般財団法人消防試験研究センター山形県支部 ☎023(631)0761まで

労働相談会の開催について

解雇などの労使間のトラブルでお悩みの方のために、労働相談会を開催します。

◆日時/10月16日(日)10時〜15時

◆場所/山形県庁

◆対象者/労働者、事業主など

※申込・お問い合わせは、山形県労働委員会 ☎023(630)2793まで



夕 方降り出した大雨に、慌ててレインコートを着て撮影に臨んだ花火大会。始まって間もなく雨はやみましたが、再び降るのではなにかとそのまま撮影を続けていました。夏の夜の蒸し暑さの中、終わるころにはまるで減量中のボクサーのように汗で全身が濡れに。ひと夏の花火のように、つかの間、つかの間の減量体験でした。

(伊藤智治)

思い出の まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲丸太を縦割りにする時に使われた、長さ約1メートルにもなる「前びき」

◀木を切り倒すために使った、長さ1メートル以上の「大のこ」。かなりの大木でも切ることができます。

私の父が使っていた「前びき」と「大のこ」です。昔、柳川には製材所があり、古寺からトラックで運んできたブナなどの木材をそこで加工していました。直径1メートル以上もあるブナの丸太を、この前びきで縦に半分に割ってから保管していたそうです。製材所があったのは私が小学校に入る前のことで、私が林業を継いでからは使ったことがなく、小屋の奥にしまわれたままになっていました。

何十年もの時間が経って、刃は赤く錆びてしまっていますが、父はまめな性格で、常に刃を研いでいましたので、今でも木を切れると思います。

(柳川平 鈴木 孝)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

7月21日～8月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
小見	鈴木 啓人 ^{ひろと}	男	聡・早苗
下北山	松田 叶望 ^{かのん}	男	裕司・理恵
橋上	柏倉 幸親 ^{ゆきちか}	男	元気・美野
みなみ	菊地 夏瑠 ^{なると}	女	亮太・妙子
藤田	山内 光 ^{ひかる}	男	クレベル・留美
月が丘	今野 愛菜 ^{まな}	女	清彦・あや子
3区	佐藤 知夏 ^{ちなつ}	女	元輝・紗希
藤田	菅井 紗結 ^{さゆり}	女	悠・美穂
富沢	斎藤 龍志 ^{りゅうし}	男	健裕・奈未

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
4区	白田 かく	(86)
小漆川	林 はるの	(89)
6区	富樫 雄	(25)
木の沢	木村 新治	(47)
田ノ沢	今野 信	(81)
市の沢	室岡しげへ	(93)
小見	伊藤美和子	(87)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,630人(-8)
男	4,263人(-6)
女	4,367人(-2)
世帯数	2,923戸(+1)

平成28年9月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。